

平成24年度 健康（保健安全・食育）体力に関する取組

1 健康・体力に関する主な実態

（１）定期健康診断・元気っ子体力チェックから

- ・身長や体重は、県の平均値とほぼ同じであり、肥満傾向のある生徒は1割未満であった。
- ・元気っ子健康体力チェックの結果より、握力が比較的高い値を示しているが、ハンドボール投げが平均を大きく下回っており、投技能に課題が見られる。また、元気っ子健康体力チェックの総合判定では男子ではA段階の生徒数が各学年共に少なく、女子ではD段階の生徒が多く、運動能力の二極化現象が見られる。
- ・運動部やスポーツクラブへの加入率は男子73%、女子68%で昨年度と比較すると徐々に女子生徒の運動が定着しつつある。

（２）元気っ子健康体力チェックのアンケート及び学習と生活についてのアンケートから

- ・朝食をとる習慣は身に付いているが、1割程度の生徒が時々朝食を欠かすことがある。
- ・睡眠時間が6時間に満たない生徒が2割程度いる。
- ・3割の生徒が自宅でテレビを3時間以上みている。

（３）授業や体育的行事等への取組状況から

- ・体育的行事や授業に積極的に取り組むことができているが、授業に関しては女子生徒の積極性に欠ける部分が見られる。

2 今年度の重点目標

- 自己の体力向上を目指し、主体的に運動に取り組む生徒の育成

3 今年度の取組（『スタンダード』関連には、文頭に☆）

（１）健康・体力の向上

☆ 補強運動の計画的・継続的实施（通年）

☆○活動量を確保した体育の授業や体育的行事の充実、運動部活動の推進

☆○保健だよりの発行（通年）

- ・ 性教育サポート教室の講演

（２）望ましい食習慣の形成

☆○食育だよりの発行（通年）

- ・ 食生活の改善を目的とした保健や学級活動の充実

（３）家庭・地域との連携協力

☆○地域安全マップの活用

☆○宇都宮中央警察署との連携による薬物乱用防止教室

☆○宇都宮中央警察署との連携による交通安全教育